

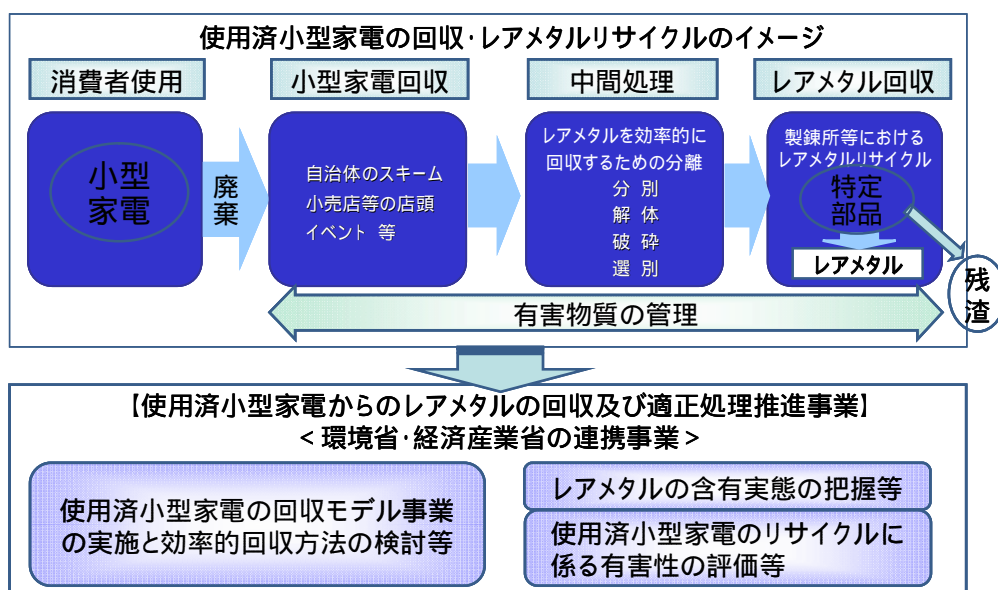
使用済小型家電からのレア金属の回収及び適正処理について

1. 背景

資源の有効利用への関心の高まりなどを背景に、近年、使用済小型家電からレア金属や貴金属のリサイクルに取り組む自治体や企業が出始めている。しかし、こうした取組は始まったばかりであり、レア金属回収技術の研究開発については着手されたものの、効率的・効果的な回収方法や適正処理方法等は検討途上にある。

2. 使用済小型家電からのレア金属の回収及び適正処理に関する研究会

環境省及び経済産業省は、「使用済小型家電からのレア金属の回収及び適正処理に関する研究会」を設置し、昨年12月上旬に第1回を開催した。この研究会では、適正かつ効果的なレア金属のリサイクルシステムの構築を目指すべく、使用済小型家電の回収活動で先行している自治体等と連携し、秋田県、茨城県及び福岡県にて、実際に多種多様な使用済小型家電を様々な方法で回収する（回収モデル事業（別紙参照））ことにより、当面、「使用済小型家電の効率的・効果的な回収方法」「使用済小型家電におけるレア金属の含有実態の把握等」「使用済小型家電のリサイクルにおける有害性の評価及び適正処理等」について検討を行う予定である。



3. 循環型社会形成推進研究費（レア金属回収技術特枠）

また、技術開発支援として、平成21年度から循環型社会形成推進科学研究費補助金にレア金属回収技術特別枠を新たに設けることとした。本補助金は、循環型社会形成の推進及び廃棄物に係る諸問題の解決に資する研究を推進し、循環型社会形成の推進・廃棄物の安全かつ適正な処理等に関する行政施策の推進及び技術水準の向上を図るものであり、使用済製品等、廃棄物からのレア金属の回収技術やそれに伴う重金属等有害物質対策、残渣処理技術等の研究開発についても、積極的に支援していくものである。

各地域における回収モデル事業

1. 秋田県

平成 18 年度より、大館市において使用済小型家電の回収試験を実施。(本年度より、対象エリアを全県域に拡大。)

本モデル事業では、回収ボックスによる回収(大館市内 32 カ所、能代山本地区約 15 カ所に新設)、粗大ごみ・不燃ごみからのピックアップ回収、イベントにおける回収を実施。

回収の対象となる機器：

家電リサイクル法等の対象品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、パソコン)を除く、使用済小型電子機器全般。



回収ボックス(秋田県提供)

2. 茨城県

日立市において、回収ボックスによる回収(同市内 7 カ所に設置)、粗大ごみ(小)・自己搬入ごみからのピックアップ回収、イベントにおける回収を実施。

回収の対象となる機器：

デジタルカメラ、ビデオカメラ、携帯音楽プレーヤー、電子手帳、携帯ゲーム機器、ACアダプタ、卓上計算機、カーナビ、ワープロ、携帯電話



回収ボックス イメージ図(茨城県提供)

3. 福岡県

大牟田市において、回収ボックスによる回収(同市内 29 カ所に設置)、不燃ごみからのピックアップ回収、イベントにおける回収を実施。

回収の対象となる機器：

デジタルカメラ、ビデオカメラ、ポータブル音楽プレーヤー、ポータブルDVDプレーヤー、携帯用ラジオ、携帯用テレビ、小型ゲーム機、電子辞書、電卓、HDD、リモコン、電子機器付属品(ACアダプタ、充電機器、コード・ケーブル類)、携帯電話



回収ボックス(福岡県提供)